

# こちろ特報部

FAX 03 (3595) 6911 Ex-1J tokuho@chunichi.co.jp

## 行動する女たちの会

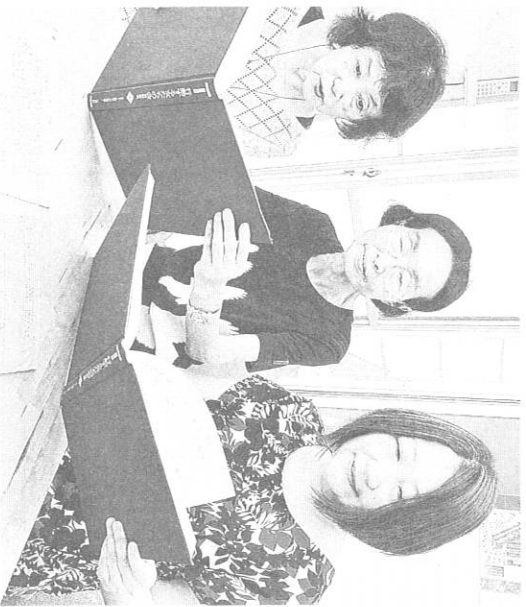
一九七〇年代から約二十年間、日本社会のあらゆる女性差別と戦った「行動する女たちの会」の活動をまとめた資料集の刊行が始まった。また性差別への意識が希薄だった時代、女性運動史に明確な足跡を残している。

(沢田千秋)

会の前身は「国際婦人年をきっかけとして行動を起す女たちの会」。国際婦人年とは、国連が女性の地位向上を目指し、加盟国に緒に走り回った日々を昨日の十年間。七五年、市川房枝参院議員(当時、故らのが民間の機運を盛り上げようと会を結成した。八六年、婦人年の終了とともに「行動する女たちの会」に名称変更。九六年、会に名称変更。九六年、対し、男女平等にするべき新会員の減少や資金不足から解散するまで続いた。男女平等運動家の中嶋里美さん(せび)埼玉県所沢市りくろだった」

# 女性差別 20年の戦い 刊行

## NHKに抗議 ラーメンCMに



NHKへの抗議から一週間後には、インスタントラーメンのCMのキetchupレース「私作る人、僕食べる人に異議を唱えた。CMは翌月から差し替わった。すると週刊誌などからスチリックだ「本質から外れている」。中嶋さんは「ひどい書かれ方だった

資料集「行動する女たちの会」を振り返る中嶋里美さん(左から)、高木智美さん(右)、東京都千代田区

が、性別による役割分業の根源的な問題を初めて提起した」と振り返る。

区は国家公務員だった。高木澄子さん(せび)杉並区は国家公務員だった。六花出版から全八巻が三回に分けて配本され、「一、二巻は十一日に刊行。残りは三巻ずつ二回に分けて配本予定。価格は全巻で十八万円。十一日には出版記念集

## 今の労働状況 考える契機に

を会を都内で開く。

編さんに携わった米本マナ州立大准教授の山口智美さん(せび)は「現状を打破するヒントがこの資料集成にある」と強調する。

「男女ともに仕事も家庭も担法案」を独自に作成し、会では、「男女雇用平等法」を独自に作成し、確定している。別コース制は憲法違反」がタナ州立大准教授の山口智美さん(せび)は「現状を打破するヒントがこの資料集成にある」と強調する。「バブル世代の私は、均等法と派遣法の以前に、人々の労働条件が必要」などと主張した。しかし、八五間のしい労働を求める運動があったことを知らなかった。今、男女ともに労働をめぐる状況は悪化し、派遣法等法では男女両方の人間的に働き方を訴えたのに、弱体化している。何かいけなかったのか、なぜつまづいた重労働を女性にもさせるといふ不幸な内容になっ

資料集「行動する女たち」だと批判する。